

次期生駒市都市計画マスタープラン 策定検討の流れと視点について

策定検討の流れ



令和元年度
(2019年度)

現状把握
課題分析

市民意見
等の把握

- 検討体制について 第1回
- 第6次総合計画について
- 検討の流れについて

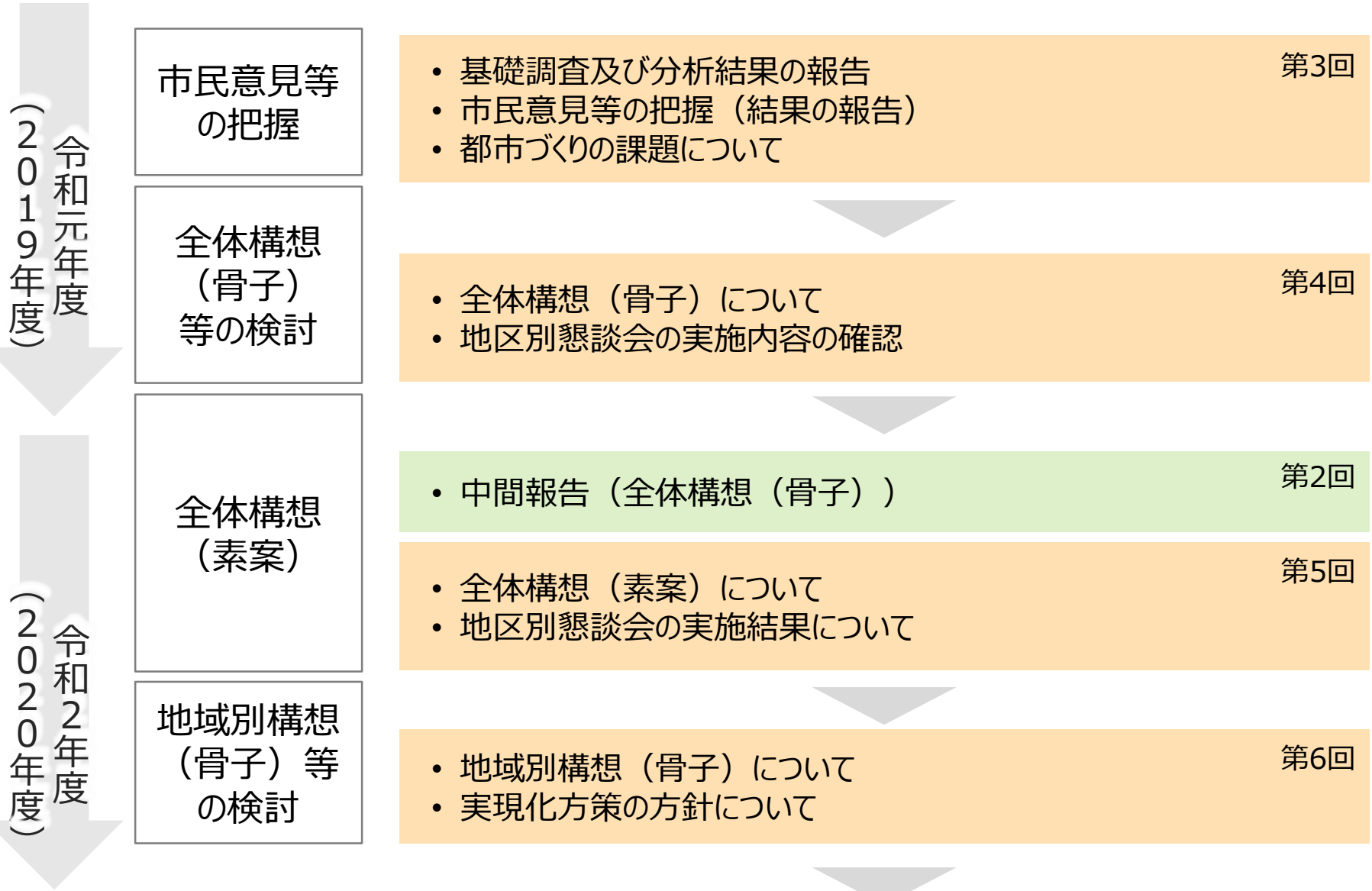
- 策定検討の流れについて 第1回
- 策定の視点について

- 〈基礎調査〉
- 都市づくりをめぐる現状の把握
 - 関連する既往計画や施策等の整理
 - 市街地の現状及び将来見通しにおける都市構造上の課題分析
 - 現行計画に基づく施策の実施状況の各課調査
 - 市民意見等の把握（方法の検討）

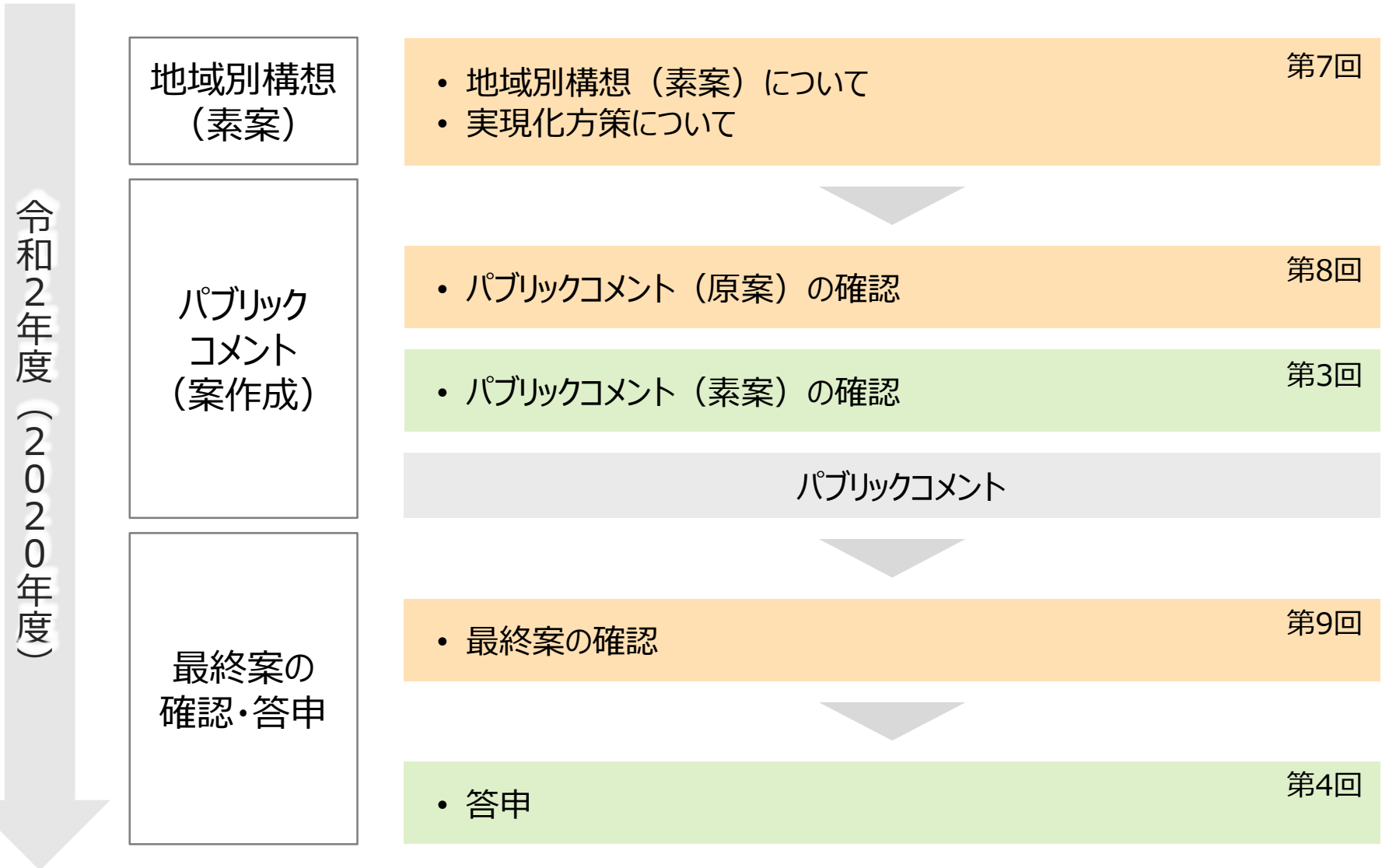
庁内検討会発足
(8月頃)

- 基礎調査の状況報告 第2回
- 庁内検討会の検討内容について
- 市民意見等の把握（内容の確認）

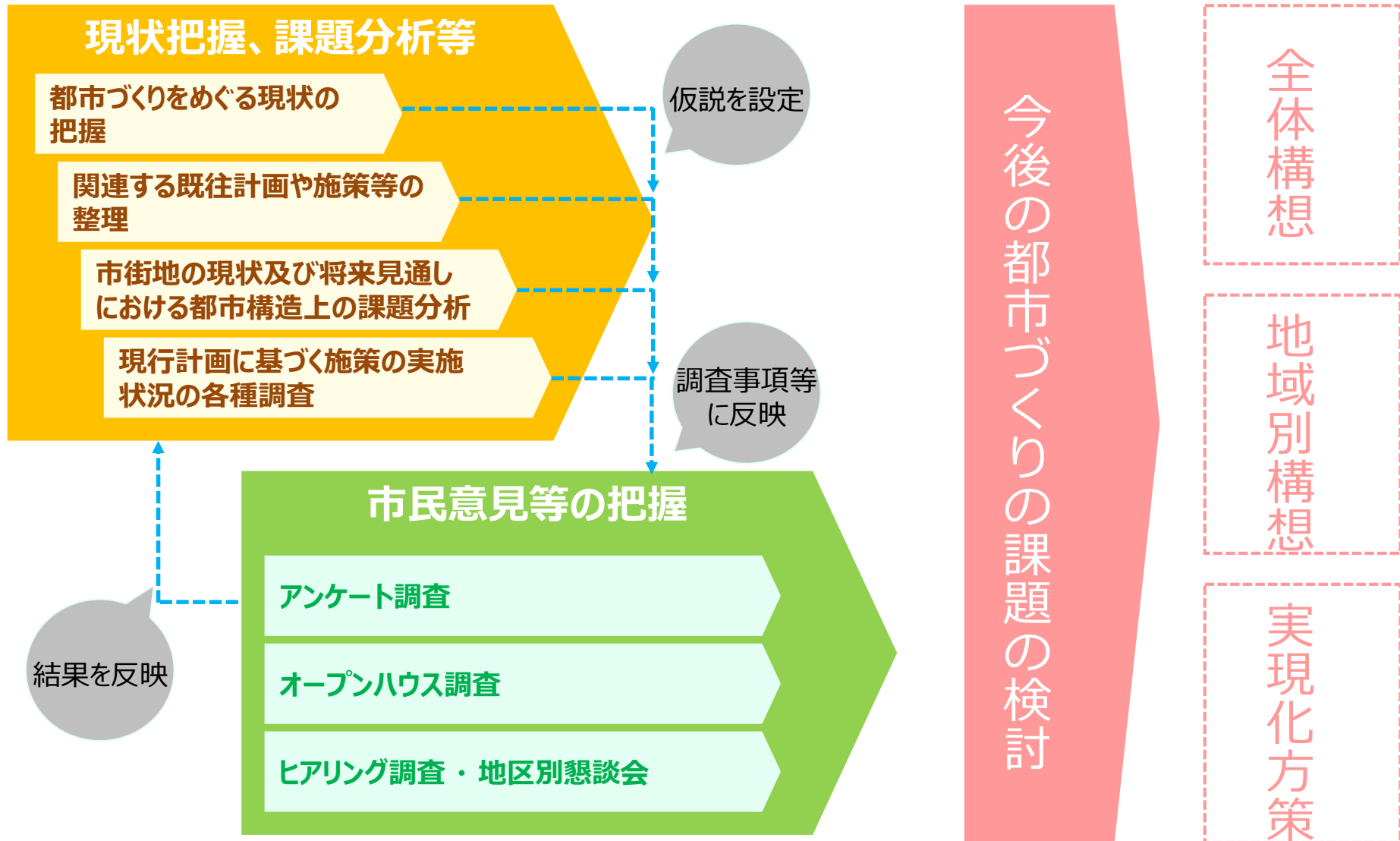
策定検討の流れ



策定検討の流れ



策定検討の流れ



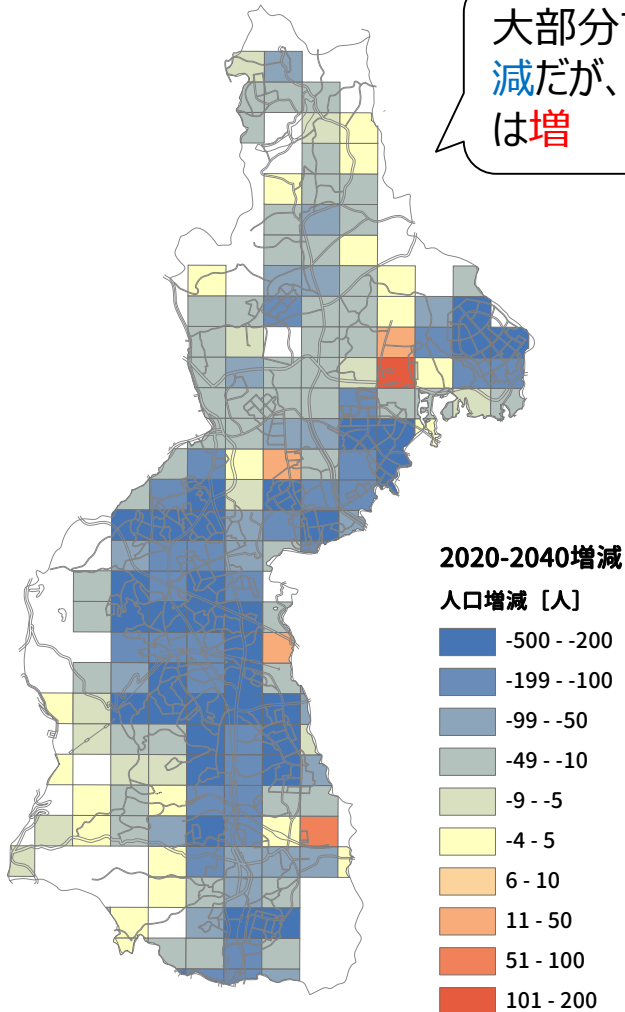
都市づくりをめぐる現状の把握（生駒市の状況〈人口推計データ〉）

生駒市 人口予測

（2020年→2040年）

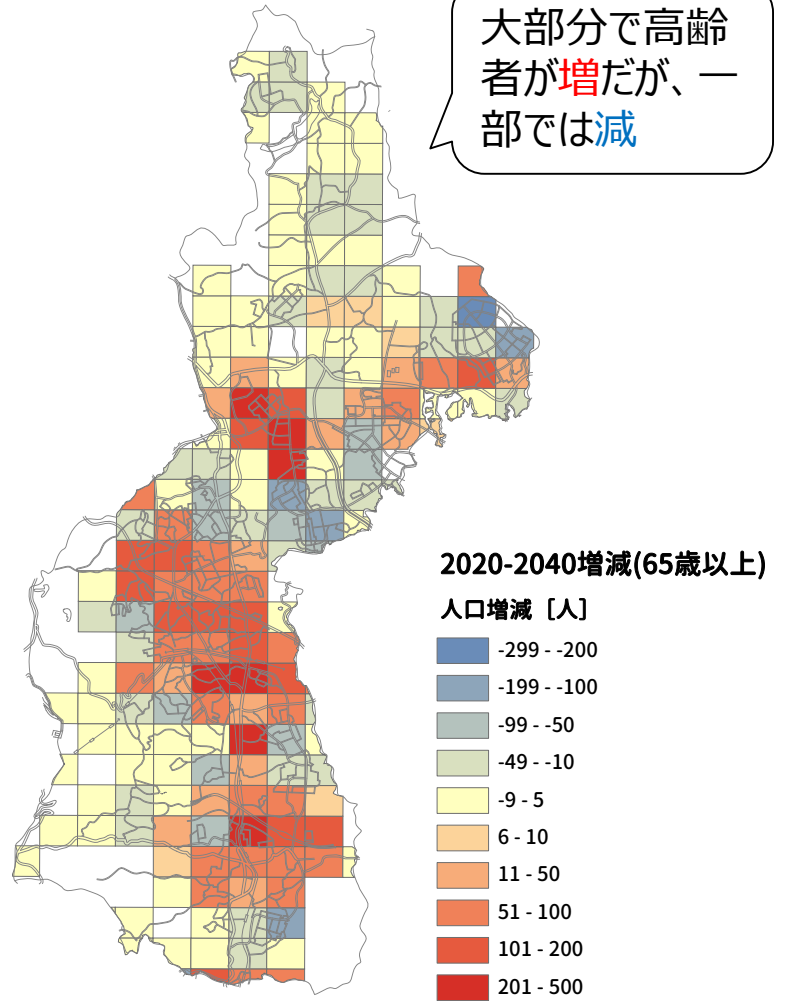
人口増減図

大部分で人口
減だが、一部で
は増



高齢者人口増減図(65歳以上)

大部分で高齢
者が増だが、一
部では減



都市づくりをめぐる現状の把握（生駒市の状況〈仮説〉）

拠点の賑わいや充実・強化に向けた動向

生駒駅周辺では、商業機能や都市機能の集積に伴い一定の賑わいやまちづくりが進展



生駒駅前広場「ベルステージ」

住宅都市として高い評価

定住希望率 約85%
 住みよさランキング 県内1位
 ブランド力発信 (いこまち宣伝部、good cycle ikoma)



いこまち宣伝部

オールドニュータウン化への対応

高齢化等に伴う空き家増加・地域コミュニティ低下など
 一方で地域住民主体の地域課題への取組みの兆しが見えつつある



あすか野ミライ会議

集落地域の活性化

後継者不足等による遊休農地の増加や、鳥獣被害による営農意欲の低下が課題になりつつあるところも



西菜畑町のまちなみ

都市づくりをめぐる現状の把握（生駒市の状況〈仮説〉）

持続可能な都市運営の推進

人口減少・人口構成の変化に対応できる公共施設の適正配置や交通弱者への交通ネットワークの確保



コミュニティバス「たけまる号」

自助・共助・公助のバランスの取れた包括的支援

まず自分自身が行い、次に周囲や地域が協力する、そして行政が支援・補完する健康に暮らせるまちづくりの推進



介護予防（のびのび教室）

環境モデル都市としての継続的な取り組み

都市近郊ながら里山・農地・水辺などの自然に恵まれた居住環境を持ち、市民の活動が活発



環境モデル都市アクションプラン
新たな取り組みの3つの柱

成熟した市民まちづくり

生駒駅前広場ベルステージでの取組、ママ起業家・NPO的活動など、市民まちづくりの成熟



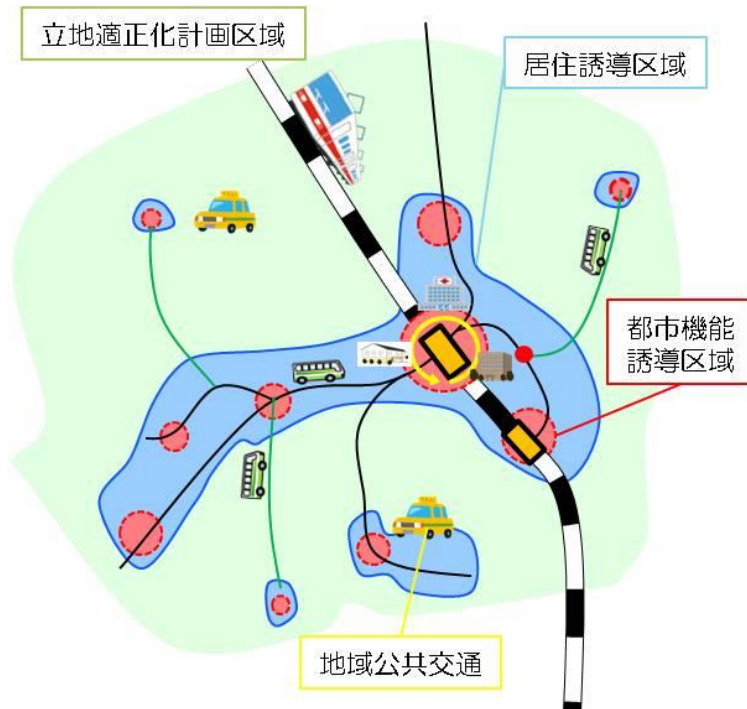
いこママまるしえ

都市づくりをめぐる現状の把握（近年の主な潮流）

コンパクト&ネットワーク

持続可能な都市構造の構築

- ・集約型都市構造への転換
- ・都市のスポンジ化への対応
- ・立地適正化制度の創設（2016年）



SDGs

持続可能な開発のための17の目標



都市づくりをめぐる現状の把握（近年の主な潮流）

Society 5.0

科学技術を活かした人間中心の都市づくり

- ・仮想空間と現実空間の高度な融合
- ・A I（人工知能）
- ・MaaS（モビリティ・アズ・ア・サービス）等



都市づくりの新たなアプローチ

小さな空間や取組から考える戦術的アプローチ

- ・公共空間の利活用
- ・社会実験を通じた実践と検証
- ・エリアリノベーション
- ・エリアマネジメントの取組拡大 等



道路空間の再編による滞在空間の創出（神戸・三宮中央通り）



緑道等を活用した地元住民の実行委員会が開催するマーケット（大阪南港ポートタウン）

関連する既往計画や施策等の整理

第6次生駒市総合計画

(平成31年3月策定)

生駒市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(令和元年度策定予定)

奈良県 区域マスタープラン

(令和2年3月改定予定)

その他行政計画(抜粋)

- ・地域公共交通総合連携計画
- ・公共施設等総合管理計画
- ・商工観光ビジョン
- ・高齢者保健福祉計画、介護保険事業計画
- ・生駒市における地域包括ケアシステム構築に向けたロードマップ
- ・地域防災計画
- ・環境基本計画、環境モデル都市アクションプラン
- ・効率的な汚水処理施設整備基本計画
- ・水道ビジョン
- ・生涯学習推進基本計画
- ・空き家等対策計画
- ・景観形成基本計画 他



整合・連携

次期 生駒市都市計画マスタープラン

計画の目標年次：令和12年(計画期間：令和3年4月～令和12年)を予定

※令和元年度第1回生駒市都市計画審議会資料の再掲

市街地の現状及び将来見通しにおける都市構造上の課題分析

人口、土地利用、都市交通、経済活動、財政、地価、災害、都市機能、都市施設等に関する基礎データの収集を行い、次の2点の視点から分析

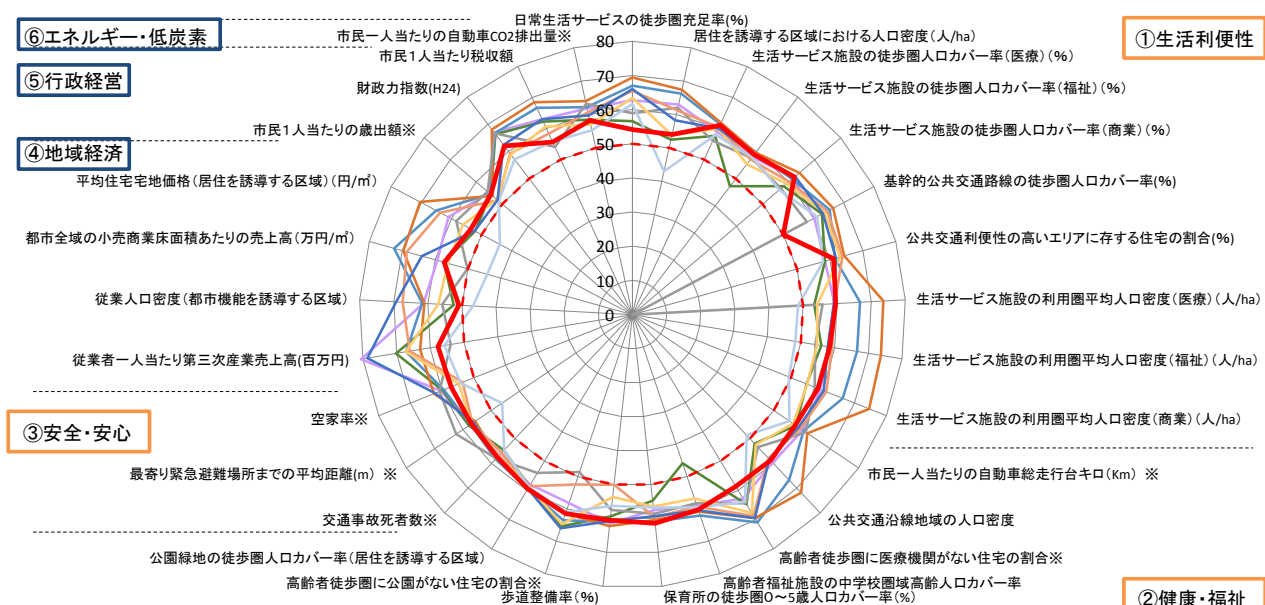
都市構造分析

(全市レベル)

- 「立地適正化計画ガイドライン」「都市構造の評価に関するガイドライン」に即した分析
- 都市特性が類似する都市との比較分析を行い、本市の優位性などの特徴を把握

都市特性が類似する都市

橿原市 (奈良県)
 池田市 (大阪府)
 箕面市 (大阪府)
 ふじみ野市 (埼玉県)
 青梅市 (東京都)

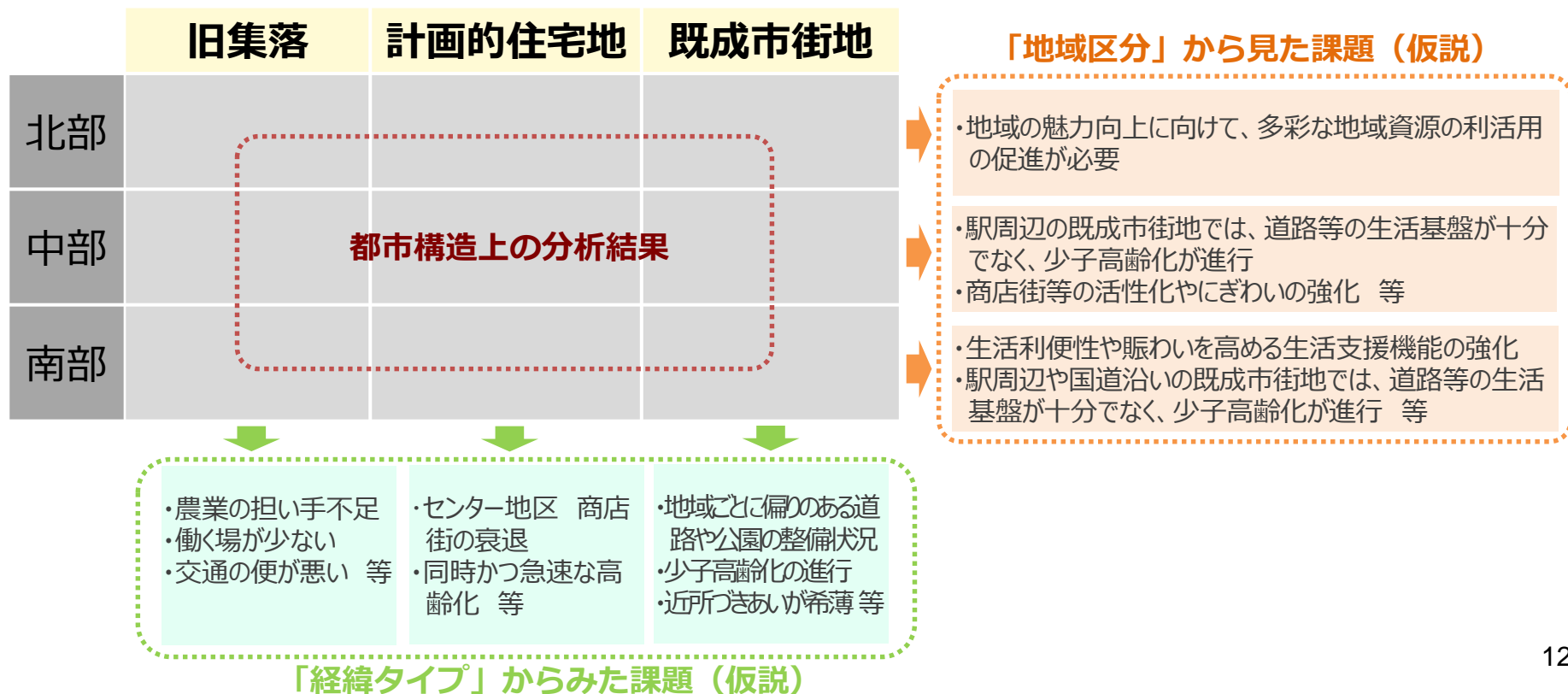


評価指標による比較イメージ

市街地の現状及び将来見通しにおける都市構造上の課題分析

地域類型ごとの分析 (地域レベル)

- 市域を、「地域区分」と「経緯区分」を用い、「地域類型」を整理
- 「地域類型」ごとに、現状把握及び課題の整理
- 現状だけでなく、将来見通しの視点から課題箇所等を把握



現行計画に基づく施策の実施状況の整理

検証の視点と把握方法

- 施策の実施状況（アウトプット）を整理し、現行計画の達成状況を把握

➡ 各施策の担当課へ照会

- 市民意見（実感）等の把握の結果を踏まえ成果（アウトカム）を検証

➡ アンケート調査

アウトプット評価の整理と結果の活用方法

- 達成状況に加え、今後の達成見通しを整理し、次期計画への反映を検討

市民意見等の把握

● アンケート調査

調査の目的

- ① 市民の生活行動の把握
- ② 暮らしの将来像の検討
- ③ 取組の成果検証（アウトカム指標）
- ④ 都市活動のニーズ分析

調査概要

【調査対象】

- ・各年代・地域より無作為抽出

【調査対象数】

- ・4,000人

【配布回収方法】

- ・郵送による配布回収
+ WEB回答の活用を検討

【目標回収率】

- ・55%

設問のイメージ

【市民の生活行動把握のための設問】

- 買い物に行く場所、交通手段、頻度 等

【暮らしの将来像の検討材料となる設問】

- 生駒市でどのような暮らしをしていきたいか

（選択肢案）

- ・身近なところで農に親しむ
- ・駅前におしゃれして出かける
- ・休日に自宅の近所でモーニング
- ・仕事帰りに家族と待ち合わせて食事 など

【現行計画の目標を踏まえた設問】

- 地域の活動に参加して知人が増えたか

【都市活動のニーズを分析するための質問】

- どこで、どんな活動に関わってみたいか

市民意見等の把握

●オープンハウス調査

調査の目的

- ・アンケート調査では把握が難しい事項を抽出
(生駒の資源、魅力的な環境を活用した暮らしの営みなど)

調査概要

【調査方法】

- ・イベント等におけるブース出展
- ・対面式アンケート調査
または、ワークショップ形式（検討要）

【調査上の工夫】

- ・アンケート調査結果や施策の実施状況など、
事前情報を提供したうえで実施

【調査機会】

- ・サンフェスタ（11月）
- ・いこママまるしえ（9、10月頃） など



実施イメージ

市民意見等の把握

●ヒアリング調査

調査の概要

	既存団体	生駒で元気に活動している方
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会議所 ・農業委員会 ・環境団体 など 	good cycle ikomaで特集されている市民（いこまのひと）など
調査目的 把握内容	<ul style="list-style-type: none"> ・組織内での課題 ・都市づくりにおいて取り組むべきテーマ 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容や生駒を選んだ理由 ・自己実現に向けて必要な環境 ・コミュニティと連携した活動の展開の可能性

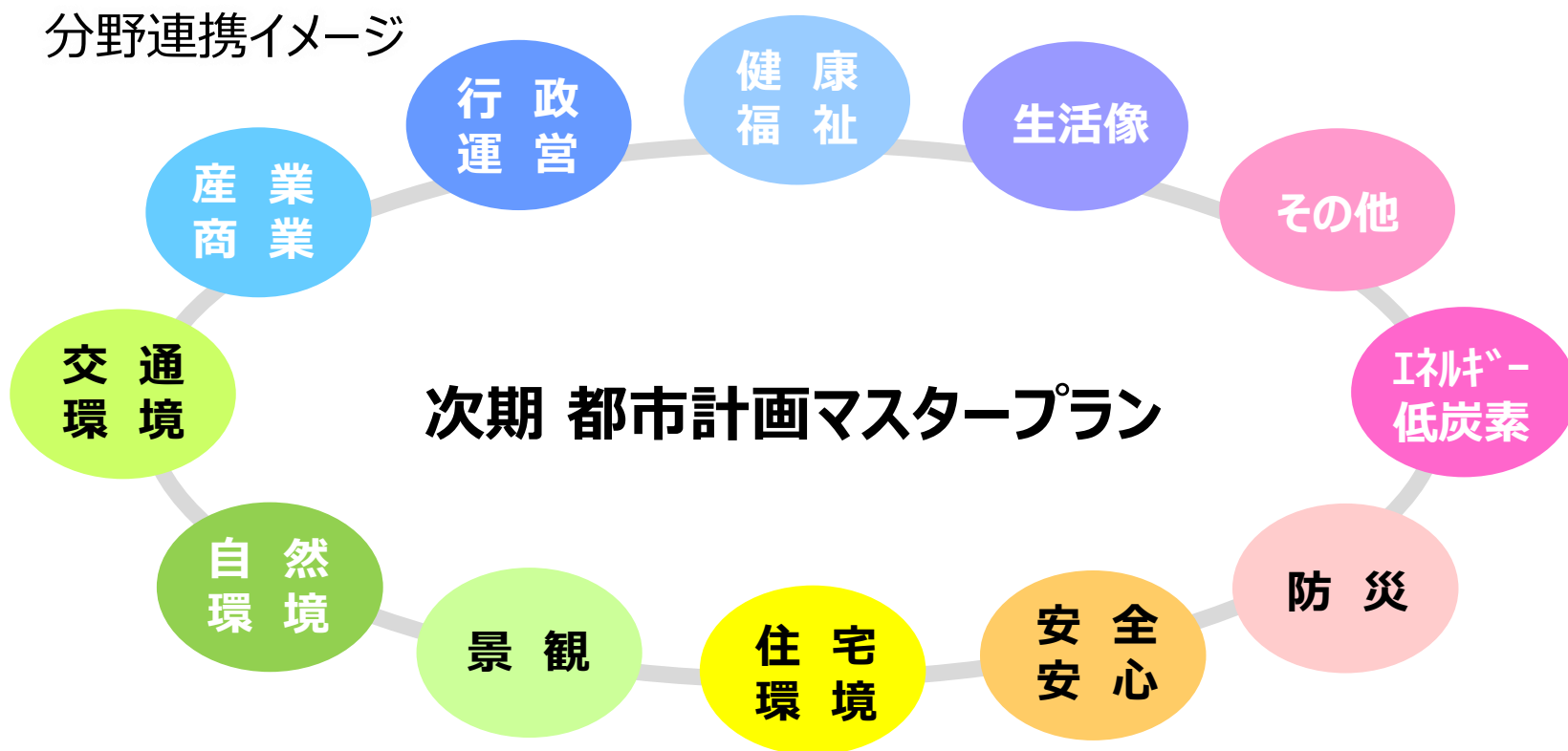
●地区別懇談会

概要

- ・地域別構想等の検討に向けて市民から意見や都市づくりのアイデアを汲み取るため、市民参加による懇談会を開催

次期都市計画マスタープラン策定に向けた基本的な考え方

社会経済情勢の変化や地域の特性を踏まえ、時代のニーズに即した持続可能でコンパクトなまちづくりを一層進めるため、各関連分野と連携のとれた柔軟で合理的な土地利用を推進する。



次期生駒市都市計画マスタープラン策定検討の視点〈仮説〉

都市づくりの視点

住宅都市として次のステージに

- ・ベッドタウンから「ひと」中心の都市づくりへの転換
- ・新しいライフスタイル、価値観の多様化への対応
- ・SDGsの実現を目指す持続可能な都市づくり
- ・既存ストックの積極的な活用
- ・健康維持、増進を図るまちづくりの推進
- ・域内経済循環の活性化

市民力による都市づくりの推進

- ・地域力と市民力を推進力とする都市づくり
- ・小さな動きを誘発するアプローチ

構成の視点

計画の構成

- ・長期的な視点の都市づくりのビジョン【戦略】
- ・ビジョンの実現を目指す取組の方向【戦術】
- ・マスタープランの運用の方策

使い方の視点

マスタープランの役割の明確化

- ・市民、事業者、行政が都市づくりの方向性を共有
- ・市民や事業者による取組をガイド
- ・都市づくりに関わる行政施策の根拠